

5年生保護者様

新型コロナウイルス感染症防止を目的とした臨時休業に伴う「家庭学習の課題」

1：教科書や家庭にある教材教具を活用した課題

教科	単元・領域など	説明・詳細・備考など
国語	「なまえつけてよ」	教科書 P17～27 「なまえつけてよ」という言葉はだれがだれに伝えたのかを考えながら読む。新出漢字もふくめてすらすら読めるようにしておく。
	漢字練習	・漢字ドリル P4～6 を書いて練習する。 ・6日に出した課題（10文字）の小テストの練習をする。 ※PDF ファイル参照
	テーマ作文 ※提出	4年生の漢字と5年生始めの10文字の漢字を多く使って、下記テーマから一つ選び、4年生の時のノートに書く。原稿用紙等でも可。 ① 総理大臣日記・総理大臣になりきって現代のニュースや自分が宣言したいことを書いてみる。 ② 生まれ変わったら・生まれ変わったら何になりたいかを理由を含め書く。 ③ なりきり作文・何かになりきってつぶやいてみる。 (例) ぼくはボールです。通常は学校の体育倉庫に友達とねむっている・・・ ④ とつげき、我が家のばんご飯レポート・家の夕飯(食事)をグルメリポーターのように大げさにしょうかいする。 ④ 自作・物語・自分で作ったことわざ・今感じていることなどを自由に書く。
算数	4年生のまとめ ※提出	4年生の教科書(下) P115～120の問題を解き、丸付け、直しまでする。 4年生で使用していたノート、その他空いているノートに書く。 ※P121～133「力をつける問題」「ほじゅう問題」「チャレンジ」も可能であれば行う。
理科	水のゆくえ	4年生の教科書 P178～192を読む。 P181、実験1を見ながら、水の量のへり方を調べる。 ※授業開始後、実験結果を聞きながら4年時の学習を補充していくため。
	ふたたび春が	4年生の教科書 P194～196を読む。家のまわりで、生き物(昆虫やツバメなど)や春の花を見つけたら、ようすを観察する。 ※授業開始後、5年生の学習と絡めながら、季節ごとの植物や動物のようすを学習していくため。
社会	日本の国土と世界の国々	4年生の地図帳を見て、世界の大陸や海洋の名前を確かめる。 ※授業の初めの単元「世界の中から見た日本の国土」の予習。
音楽	小さな約束	教科書抜粋リコーダーの課題を演奏する。できる人は#ソの音もやる。 ※PDF ファイル参照
図工	パラパラアニメーション	6cm×6cm(あくまでも目安。多少大きくても小さくてもよい。)の画用紙を10枚くらい用意する。本になるようにステープラーでとめ、パラパラめくると動いて見えるように絵をかく。
家庭	食事作り	家庭で教えてもらいながら、簡単な料理を作る。包丁の使い方や味噌汁や卵のゆで方など、調理のポイントについて1つでも学ぶ。
体育	身体作り運動の極意	室内でもできる運動に取り組む。※PDF ファイル参照

2：インターネットを活用した課題

教科等		説明・詳細・備考など
全ての教科	リンク先	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm
	説明等	「子供の学び応援サイト」 公的機関等が作成した、自宅等で活用できる教材や動画のリンクを紹介したサイトを文部科学省ウェブサイト内に開設。学校種ごと、教科ごとに掲載してありますのでご活用ください。
国語 算数 理科 社会	リンク先	https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/study_material/improvement/tokyo_basic_drill/
	説明等	「東京ベーシックドリル」基礎的な学習内容を身につけるためのドリル。
全ての教科	リンク先	https://www.nhk.or.jp/school/
	説明等	NHK for School(オンラインで視聴可能な教育番組)

※ 次ページの諸注意を、ご確認ください。

3：上記内容の家庭学習に取り組む際の諸注意（全校共通）

※必ずご確認ください

- あ) 「1教科書や家庭にある教材教具を活用した課題」は、可能な限り取り組んでください。
- い) 「2インターネットを活用した課題」は、時間がある時や課題が早く終わった時など、可能な範囲で取り組んでください。
- う) 保護者の方は「子どもの実態や体調、予定等」を考慮した上で、取り組むべき内容を、子どもと一緒に確認してください。
- え) ネットに接続できなかつたり閲覧場所が分かりづらかつたりした場合、各学年の教員へご連絡ください。
- お) 提出となっている課題は、5月7日（木）の登校日（予定）に、子どもに持たせてください。
- か) 前年度より使用しているノートが使い終わった場合は、各ご家庭の実態に合わせてご対応ください。
→その際は、学校が再会した時に、新しいノートが配布されることなどを考慮して、使いかけのノートの余りを使う等の工夫ができると、今後の「もったいない」を減らせると思います。
- き) 他の学年や、あおぞら学級のページも、是非ご覧になってください。子どもにとって効果的な取り組みがあれば、各ご家庭で参考にしてください。